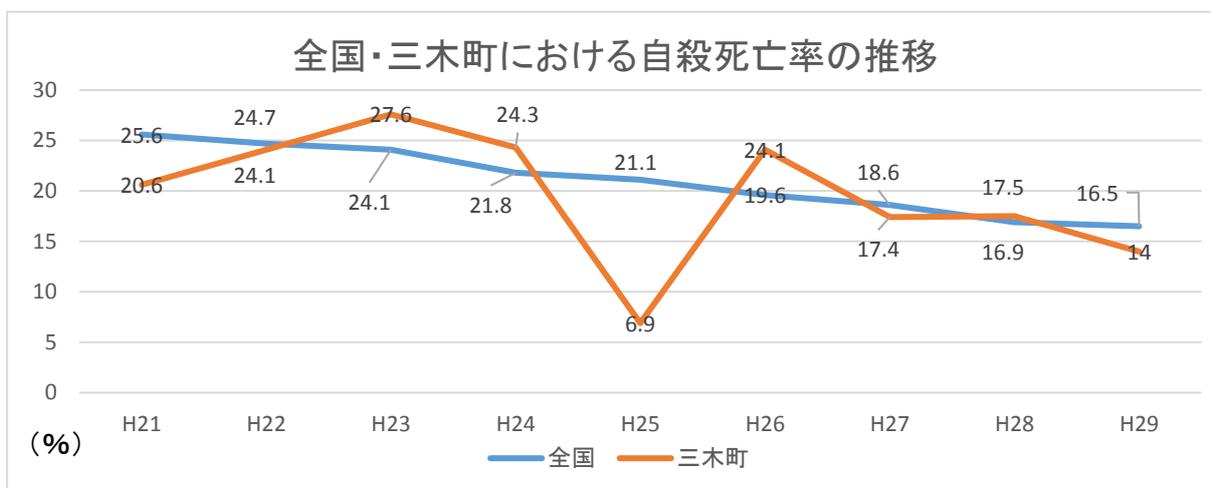


第1章 計画の基本的な考え方

1 策定の趣旨 ～「互いが支えあい健康でいきいき暮らせる三木」の実現を目指して～

<年間自殺者数は減少傾向にあるが、非常事態はいまだ続いている>

我が国の自殺者数は、平成10年に急増し、3万人前後の高い水準で推移していましたが、平成18年10月に自殺対策基本法（平成18年法律第85号。以下「基本法」という。）が施行されて以降、「個人の問題」と認識されがちであった自殺は広く「社会の問題」と認識されるようになり、自殺対策が総合的に推進された結果、自殺者数は減少傾向にあります。



資料：厚生労働省「人口動態統計」

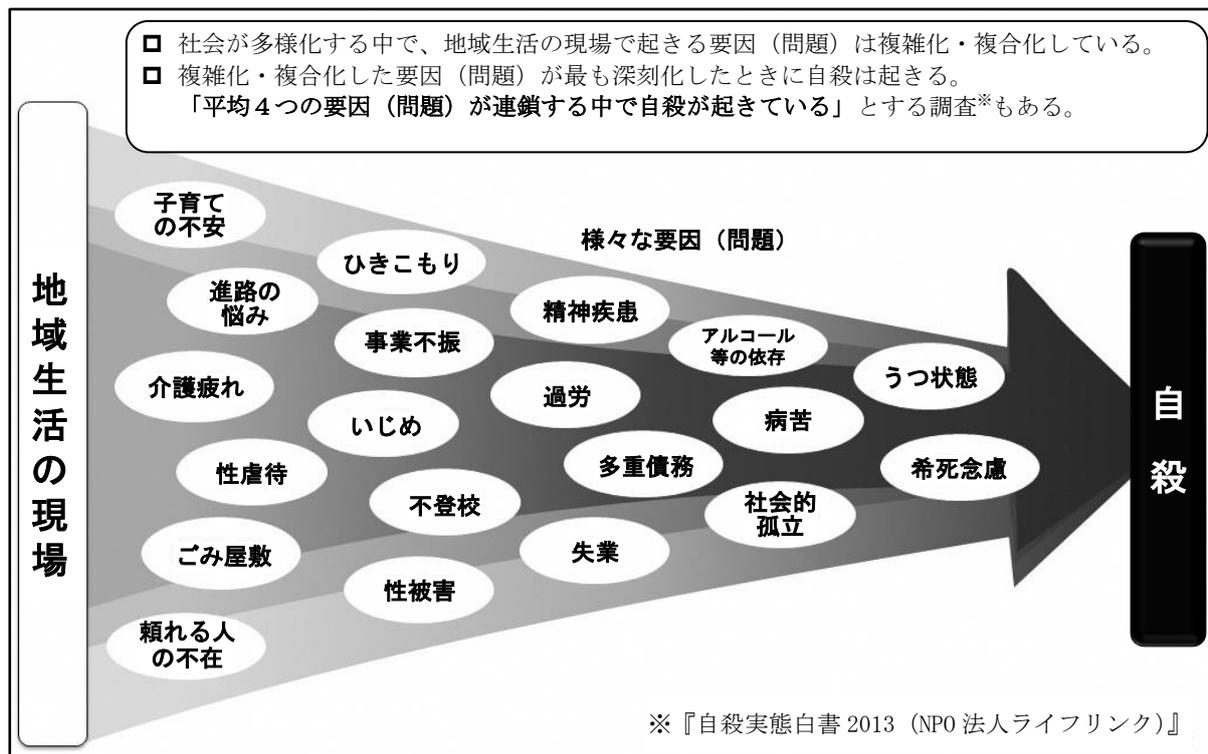
本町においても、自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）は平成26年以降減少している状況です。

しかし、それでも決して楽観できる状況にはありません。かけがえのない命が自殺に追い込まれている状況に変わりはなく、非常事態はいまだ続いていると言わざるをえません。

<自殺は、その多くが追い込まれた末の死である>

自殺は、その多くが追い込まれた末の死です。自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因があることが知られています。自殺に至る心理としては、様々な悩みが原因で追い詰められ、自殺以外の選択肢が考えられない状態に陥ったり、社会とのつながりの減少や生きていても役に立たないという役割喪失感から、また、与えられた役割の大きさに対する過剰な負担感から、危機的な状態にまで追い込まれてしまった結果と見ることができます。自殺に追い込まれるという危機は「誰にでも起こり得る危機」です。

(図1-1) 自殺の危機要因イメージ図 (厚生労働省資料)



<自殺対策基本法の改正>

こうした中、施行から10年の節目にあたる平成28年4月に改正された基本法において、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指すことが新たに目的規定に追加され、また、自殺対策が、「生きることの包括的な支援」として、「保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策との有機的な連携」を図り総合的に実施されるべきであることが基本理念に追加されました（基本法第1条、第2条第1項及び第5項）。

さらに、市町村は、政府が推進すべき自殺対策の指針として定められた「自殺総合対策大綱」（以下「大綱」という。）及び都道府県自殺対策計画並びに地域の実情を勘案して、「市町村自殺対策計画」を定めることとされました（基本法第13条第2項）。

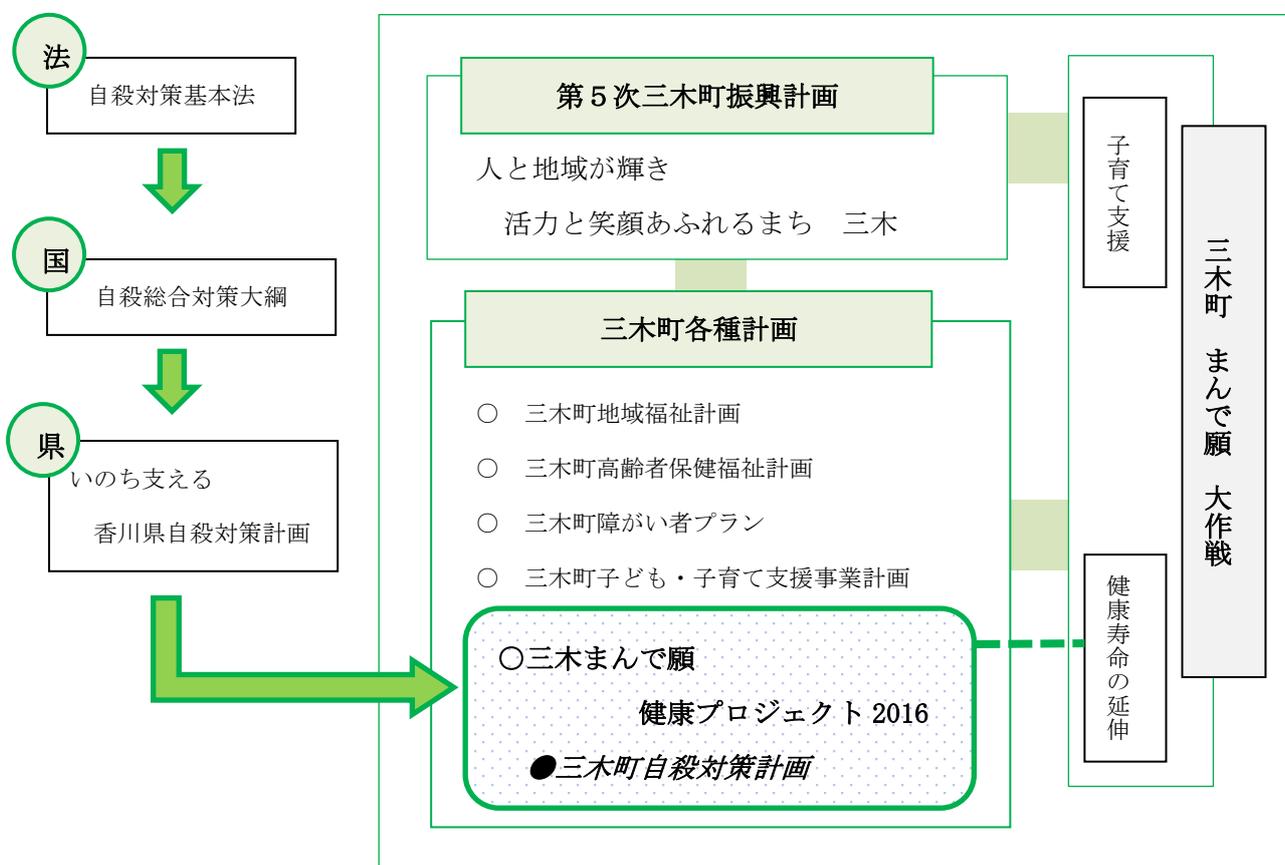
三木町自殺対策計画は、基本法の目的や基本理念を踏まえるとともに、大綱及び香川県自殺対策計画並びに地域の実情を勘案して、子どもから高齢者まで全ての町民が「互いが支えあい健康でいきいき暮らせる三木」の実現を目指して策定するものです。

2 計画の位置づけ

三木町自殺対策計画は、基本法第13条第2項の規定に基づき、大綱及びいのち支える香川県自殺対策計画並びに地域の実情を勘案して、市町村自殺対策計画として策定するものです。

また、本計画は、本町の最上位計画である「第5次三木町振興計画」を基とし、その他の関連する様々な計画との整合性や連携を図りながら推進します。

なお、令和7年度（2020年度）に実施する「三木みんなで願健康プロジェクト2016～健康長寿をめざして～」の中間評価時に本計画を含むことで、一体的に管理します。



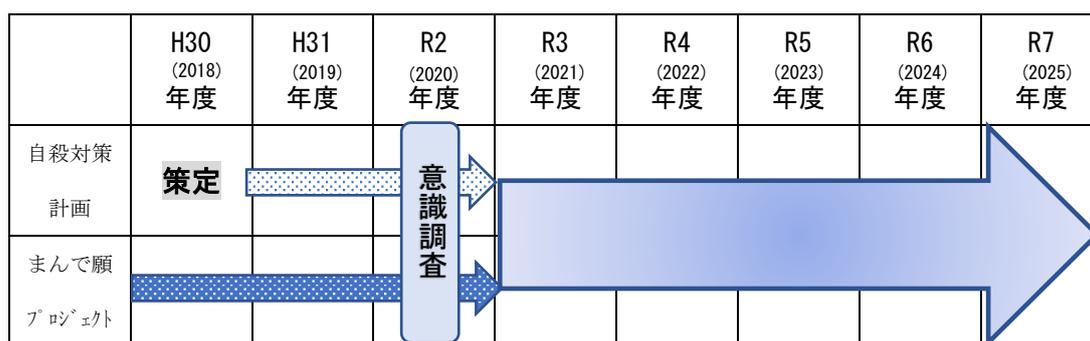
3 計画期間

国の大綱は、施策の推進状況や目標達成状況等を踏まえ、おおむね5年を目途に見直しを行うこととされています。

現在、本町では健康増進法及び食育基本法に基づき町全体の健康づくりについて“食・からだ・ココロ・地域”の分野ごとに施策・目標を掲げている「三木まんで願健康プロジェクト2016」を平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）の10年計画で策定しています。

三木町自殺対策計画は、平成31年度（2019年度）を初年度とし、令和2年度（2020年度）の「三木まんで願健康プロジェクト2016」の中間評価時に実施する意識調査や統計データを踏まえ、「三木まんで願健康プロジェクト2016」に含めます。そこから、「三木まんで願健康プロジェクト」として一体的に管理し、5年ごとに評価するため、計画期間は平成31年度（2019年度）から令和7年度（2025年度）までの7年間とします。

なお、本計画における施策の推進状況や目標達成状況等を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを行います。



4 数値目標

	現状値	目標値（令和7年度（2025年））
自殺者数 （平成25年～平成29年）	23人	現状値より減少
自殺死亡率 （人口10万人あたりの自殺者数）	14.0%	現状値より減少